

鑄造カレッジ開催実績及び計画案

2021/12/1

地区	← 実 績 →																											← 計 画 案 →									
	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22年度 (2010年度)	平成 23年度 (2011年度)	平成 24年度 (2012年度)	平成 25年度 (2013年度)	平成 26年度 (2014年度)	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)																				
	初 年 度	2 年 度	3 年 度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度																				
	鑄 鉄	鑄 鉄	鑄 鉄	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼	鑄 鉄	非 鉄	鑄 鋼			
全国 共通				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
関東	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
東海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関西	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		
中国 四国		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
北陸	○				○										○																					△	
北海道						○																					○										
東北																												○									
九州																																					未定

※△は検討中、*は一部実施

1. 関東・東海地区以外の開催間隔のずれ違いの関係で共通講義の受講に制約が生じる可能性がある地区、
また、非鉄・鑄鋼コース希望者に対して「2年度にわたる受講」を認め、各コース開催の前年度に共通科目の受講を認める。
2. その際の受講料は1年度の受講料と同一とする。(10万円の追加無)
3. 本件に関しては、あくまでも例外措置としての運用とし、募集要項への記載など、対外的な発表は行わない。